

◆今期間のポイント

<主要しょう乱の概要>

- 28日は、高気圧が日本の南をゆっくり東へ移動する。気圧の谷が西日本の南岸付近を進む。
- 3月1日から2日は、前線が黄海から日本海へ進む。日本の南の高気圧は日本の東に移動する。
- 3日は、前線が本州付近を南下し、4日にかけて前線が本州南岸付近にのびる。

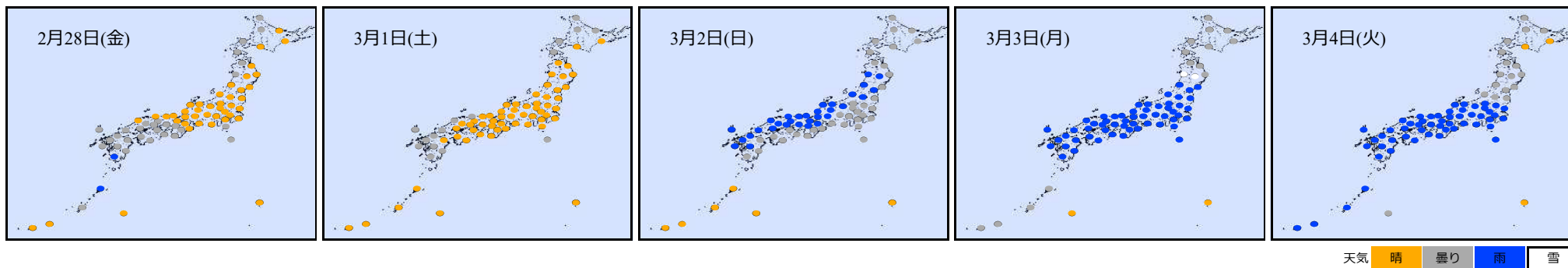
<防災事項> 11時、17時発表の早期注意情報に合わせて当項目は修正する場合があります。

- なし。

※最新の早期注意情報、気象情報、台風予報も参照ください。

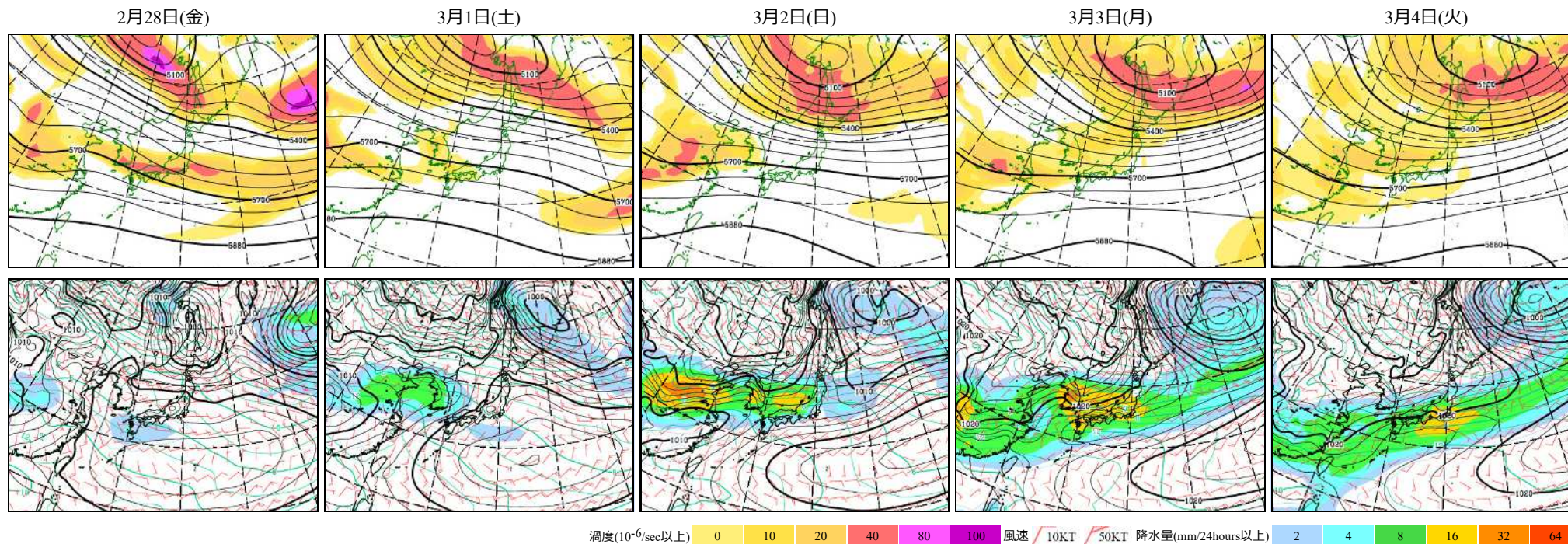
以下の資料は、気象事業者等が、気象庁の提供する週間天気予報の根拠を理解するための補助資料であり、そのままの形式で一般に提供することを想定して作成したものではありません。

◆10時時点の3～7日目の天気予報案 (11時以降は気象庁HP等にて発表予報をご利用ください。)

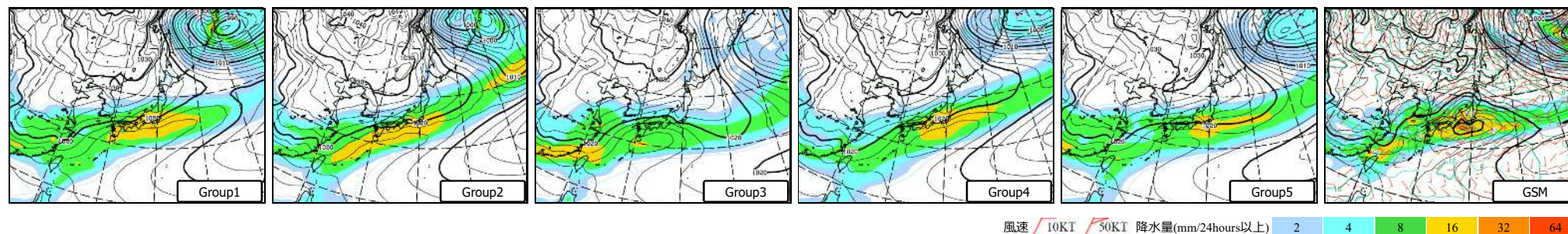


- 北日本は、28日と3月1日は、晴れる所が多い。2日から4日は、雲が広がりやすく雨または雪の降る所がある。
- 東日本は、28日と1日は晴れる所が多い。2日から4日は、曇りや雨または雪となる見込み。
- 西日本は、曇りや雨の降る日が多い。1日は晴れる所が多い見込み。
- 沖縄・奄美は、晴れまたは曇りの日が多いが、28日と4日は雨の降る所がある。

◆アンサンブル(ENS)平均予想図 上図：500hPa高度線、渦度 下図：海面気圧、地上風、前24時間降水量(21時)



◆3月4日のENSクラスター平均(グループ1~5)とGSMの地上予想図 海面気圧、地上風(GSMのみ)、前24時間降水量(21時)



◆昨日資料からの変化と予想のばらつき

- 最新のアンサンブル資料 (ENS) は、3月1日頃オホーツク海に進むトラフが浅くなり、3日から4日にかけて日本付近は西南西の流れになる傾向となった。地上の気圧配置の予想は、1日に日本海に進む気圧の谷の東進が早まった。
- 各モデルの差は、28日までは小さいが、3月1日以降は少しずつ大きくなっていく。4日に本州南岸を進む低気圧の位置は各モデルで異なる。ENSには、それぞれのモデルに近い予想をするメンバーの他に、低気圧が日本の東まで進むと予想するメンバーもある。

◆ENSからの修正点とサブシナリオ等の補足事項

- 予報は、おおむね最新のENSを基に考える。